

装着方法に誤りはないか？



装着前には前処理が必要

油分・汚れはグルーとの相性が悪く人工毛が外れやすくなる原因となる為、装着前にはまつげに付着している油分を前処理剤でしっかり落とします。(まつげにファンデーションなどが付着している場合は、予めクレンジングでしっかり落とします。)

※前処理の後にはしっかりと乾かします。



◆前処理剤でまつげに付着した油分をしっかりと落とす。

適量のグルーをつけること

グルーをつける量が少なければ外れやすくなってしまいます。同時に、つけ過ぎてしまったグルーを払い過ぎていないか注意しましょう。

※グルーをつけ過ぎると人工毛装着後グルーがダマになり不自然な仕上りになってしまうため、これを避けようとした時に「払い過ぎ」が起こってしまいます。



◆「ダマにならないように」注意すること。



◆5~10分以内に1回新しく容器から出し、常に新鮮なグルーを使用すること。

装着するまでに時間がかかり過ぎてはいけない

まつげに人工毛を装着するまでにグルーが乾燥してしまい、しっかりと接着されません。

※グルーによって固まる時間が異なることを理解した上で、実際に使用するグルーの接着までの時間と適切な塗布量を判断する必要があります。

適切なグルー塗布量目安 クリーンラッシュ(先細抗菌シルクセーブル)に各グルーをつけた画像



◆OP操作性重視タイプ■マザーグルー



◆HSヘアサロン仕様■マザーグルー



◆超低粘度最速施術タイプ■ギプスグルー



◆LS超低刺激仕様■マザーグルー

Close-Up! 施術経験の長いベテランの施術者も見落としがちな重要ポイント!

グルーは粘度が下がるほど(サラサラになるほど)、人工毛の上ではじいて水滴のような水玉状になります。その水玉状になったグルーが毛の根元に集結したまま地まつげに接着すると接着面積が少なくなります。接着面積が狭くなると持続力が低下する大きな原因となりますので、地まつげに接着する際に前後に1~2回スライドさせて接着面積を広げなければなりません。

まつげに装着してから必要以上に手直ししてはいけない

持続力が極端に低下する悪い装着例

人工毛を装着時、角度や位置の調整で何度も触っている間にグルーが乾燥してしまい、正しく装着されません。



◆装着するまつげを選び

◆エクステを装着しようとしたが、うまくいかず...

◆もう一度まつげからエクステを離して...

◆再び装着するためアブロンチする

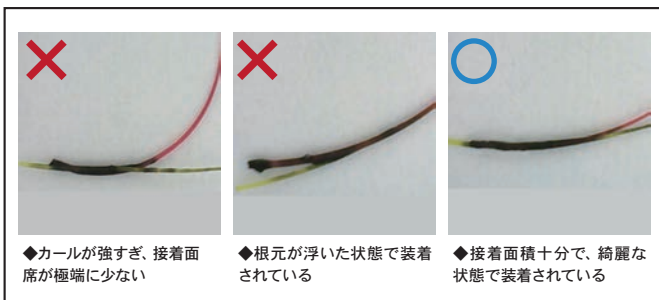
◆角度・位置を調整して

◆理想の角度・位置に装着できるよう慎重に...

◆ようやく1本を装着完了

しっかりと地まつげにフィットさせること

人工毛の根元がまつげから浮いていると、その部分からホコリなどの異物が入り込み、外れやすくなってしまいます。また、洗顔時タオルで顔を拭く際、生地の繊維が引っかかる恐れがあります。



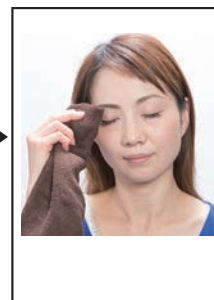
◆カーブが強すぎ、接着面が極端に少ない

◆根元が浮いた状態で装着されている

◆接着面積十分で、綺麗な状態で装着されている



◆根元が浮いている状態だと、持続力は極端に落ちる



◆顧客にアフターケア(ホームケア)に関する説明を十分にしても、確実に装着できていなければ、持続力は大幅に低下してしまいます。タオルを優しく拭いているつもりでも、装着状態が悪ければ生地の繊維が引っかかってしまいます。正確で確実な装着技術と、丁寧なアフターケア(ホームケア)の両方が重要です。

※スクール等で本資料及び画像をご使用頂く際は、「提供：株式会社松風」とだけご記載頂ければ、ご自由にお使い頂けます。是非ご活用下さい。

※本資料は、まつげエクステの持続力を向上させる為の方法の一例を説明したものです。実際の方法については、お客様各々に合わせて最善の方法をサロン様のご判断により決定してください。

